

2024（令和6）年4月10日

報道関係者各位

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） 日本館広報事務局

大阪・関西万博開幕まで1年
「循環」をキーワードに「日本館」を伝える
Web マガジン「月刊日本館」を創刊

※本リリースの情報解禁は、**4月13日（土）正午12:00**となります。
情報の取り扱いにはご注意ください。お願いします。

経済産業省は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に、“いのちと、いのちの、あいだに-*Between Lives*-"をテーマにした日本政府館（日本館）を出展します。この度、大阪・関西万博の開幕1年前である2024年4月13日に、日本館について伝える公式Webマガジン月刊日本館を創刊します。

月刊日本館は、2025年の開催に向けて、建設設計コンセプトや体験概要など、日本館に関する情報を継続的に発信していきます。

月刊日本館 URL : <https://2025-japan-pavilion.go.jp/>



■ 日本館をより深く楽しむための公式 Web マガジン

日本館のテーマ「いのちと、いのちの、あいだに」。

その根底にある「循環」の価値を知ること、日本館をより深く楽しむための公式 Web マガジン。

それが「月刊日本館」です。

2024年4月から、毎月異なる特集テーマとともに更新を予定。

私たちのすぐ身近にある循環を見つめながら、これからの社会のあり方や、持続可能な未来へのヒントを探求します。

(1) マンガで読むいのちの「循環」

展示内容のベースである「分解」「生産」「消費」のストーリーをマンガで伝えるコンテンツ。幼い子供が家族のいのちと向き合う様子から、「循環」を紐解いていきます。

(2) 私から X メートル。ここにも「循環」。あそこにも「循環」!

人の体組成から、モノのリサイクル、街のリノベーション、宇宙まで、そこそこにある「循環」の物語をアニメーションで展開します。

(3) 「循環」って、なんだろう? 10 人のキーパーソンと考える

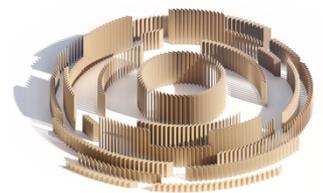
デザイナー、生物学者、写真家、お笑い芸人…10 人それぞれの「循環」を標(しるべ)に、「いのちと、いのちの、あいだに」ある大切なことを、一緒に考える企画です。

■ 日本館の体験概要などを公開

さらに「日本館について」のページでは、建設デザインコンセプトや体験概要を新たに公開。

・建設デザインコンセプト

円環状の構造体によって、いのちのリレーを体現する日本館は、ホスト国のパビリオンとして唯一無二の存在感を放ちます。最大の特徴は、円を描くように立ち並ぶ無数の「木の板」。その隙間からは内部を垣間見ることができ、中と外、展示と建築の連続によって、日本館のテーマにもある「あいだ」を来場者が意識するきっかけをもたらします。主に CLT(直交集成板)で構成される「木の板」は、万博終了後に日本各地で建物としてリユースされることを前提に、解体や転用がしやすいよう工夫されています。



・体験概要

「ごみを食べる日本館」。その正体は、バイオガスプラント。万博会場内で出たごみが、微生物のはたらきによって分解され、バイオガスとして再生される。その過程をインスタレーションで追体験しながら、プラントで生み出されたエネルギーが日本館を動かすさまを体感する「生きたパビリオン」です。3つのゾーンで構成される館内をぐるりと一周することで、日本の美意識である「循環」の意義を理解し、自分自身も、その果てしなく壮大な物語の一部であると感じていただきます。循環は、はじまりも終わりも存在しない永遠のつながり。3つある出入口のどこから入り、どこから出るかによって、異なる物語を味わうことができるのもユニークな魅力のひとつです。



詳細は、月刊日本館の公式ページをご覧ください。

月刊日本館 URL : <https://2025-japan-pavilion.go.jp/>

■パビリオンの「今」を伝える「コンニチハ！日本館」も公開予定

日本館総合プロデューサー・佐藤オオキのつぶやき。日本館の進捗や、日々の気づきを発信します。

■月刊日本館概要

- ・タイトル：月刊日本館
- ・内容：「循環」を知ると、日本館はもっとおもしろい。
大阪・関西万博日本館 公式 Web マガジン。
- ・公開日：2024年4月13日
- ・サイトURL：<https://2025-japan-pavilion.go.jp/>

【2025年日本国際博覧会 日本政府館について】



■日本館のテーマ

「いのちと、いのちの、あいだに -Between Lives-」

■日本館のコンセプト

人間だけではありません。すべての動物や植物は、あらゆるモノは、そして社会でさえも、ひとつの役目を終える瞬間に何かを受け継がれ、カタチを変えながら新たな役目を獲得する、というつながりの中に存在します。そんな「いのちといのちのあいだ」に目を向けてみると、この世界は無数の「小さな循環」によって成り立っていることに気づくはずです。

これからの豊かさとは、すべてのいのちに敬意を払いながらその意味や価値を見つめ、大きなつながりの一部となることで生まれるはず。そしてそれは、この国に息づいてきた自然観や美意識に他なりません。

「いのちと、いのちの、あいだに」

はじまりもおわりも存在しないひとつの循環の中で、あなたは何を感じ、何を考え、何を受け継ぐでしょうか。

※本件素材使用・掲載期間はすべて、2025年大阪・関西万博会期終了までとさせていただきます。

ご協力のほど、お願いいたします。

【オフィシャル素材ダウンロード先】 <https://bit.ly/3vIunUy> / DL パスワード： expo2025

※すべての素材はクレジット【経産省提供】を入れていただきますようお願い致します。

【リリースに関するお問合せ】

2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博） 日本館広報事務局（マテリアル内）

TEL : 03-5459-5490 / FAX : 03-5459-5491 / MAIL : nihonkan_pr@materialpr.jp

担当 : 植本 (090-4433-2868) / 山下 (070-8792-1098)